

**長年脊椎治療に携わってきた専門医が
 患者の負担減を第一にした医療を提供**

2011年10月に同院の名誉院長に就任した本間名誉院長は、市立札幌病院で整形外科部長を務め、30年以上にわたり数多くの脊椎疾患手術を手掛けるなど豊富な臨床経験を持つ。治療では、手術は最終手段というポリシーのもとに、神経ブロック療法やリハビリテーションなど、切らない治療を優先。痛みの背景にある生活環境などを考慮しながら、一人ひとりに合わせた治療を提供してい



正常な脊柱管(写真上)と狭窄症を起こしている脊柱管の横断面(MRI像)。脊柱管が何らかの原因で狭くなり神経を圧迫している

る。また、痛みが強い脊椎疾患手術を行う場合などは、「金属を用いた手術は体にかかる負担も大きく、合併症を引き起こす可能性もありますので、可能な限り金属を用いず、体にやさしい手術を心掛けていきます」と本間名誉院長。

近年、増加しているのが、加齢による骨や椎間板の老化などが原因の腰部脊柱管狭窄症。歩くとな肢の痛みやしびれが起き、休むと軽減するのが主な症状だ。本間名誉院長は、「自覚症状と診察で、患者の病態を的確に診断することが重要。患者さんの訴えをよく聞き、不安を共有し、解消することが症状が改善するケースもよくみられます」。同院では、メンタル面のケアを重視した診察を中心に、予防として日常生活での姿勢や運動のアドバイスをを行い、症状が強い場合には、運動療法などの保存治療を併用している。

院内は、ホテルのロビーを思わせるような落ち着いた雰囲気。閉所恐怖症の患者にも対応できるオープン型のMRIや無菌状態に近いクリーンルームでの手術など最先端の設備が完備され

る。また、痛みが強い脊椎疾患手術を行う場合などは、「金属を用いた手術は体にかかる負担も大きく、合併症を引き起こす可能性もありますので、可能な限り金属を用いず、体にやさしい手術を心掛けていきます」と本間名誉院長。

ているほか、入院施設は個室中心で、全室インターネット使い放題とするなどアメニティの充実度も高い。スタッフが常に対話重視の親切、丁寧な姿勢で対応する患者本位の接遇も好評だ。JR桑園駅、地下鉄東西線二十四軒駅、琴似バスターミナル間は無料送迎バスの対応も行う。



ホテルのロビーを思わせる待合室。院内は、来院者がやさしきや温もりを感じられるように、随所に工夫が施されている



JR桑園駅から徒歩5分の場所に位置し、駐車場も完備。無料送迎バスも運行している

名誉院長 本間 信吾

1971年北海道大学医学部卒業。市立札幌病院整形外科部長を経て、2009年桑園整形外科副院長。11年10月に名誉院長に就任。日本整形外科学会専門医・代議員、日本整形外科学会脊椎・脊髄認定医。札幌市整形外科医会副会長。医学博士



INFORMATION

- 所在地／札幌市中央区北8条西16丁目28
- ☎011-633-3636
- 診療科目／整形外科、リウマチ科、リハビリテーション科、麻酔科(福原 世世医師)
- 診療時間／月～金曜 9:00～12:00 14:00～18:00 土曜 9:00～12:00
- 休診日／日曜、祝日
- 駐車場／有(21台)
- アクセス／JR「桑園」駅下車徒歩約5分
- 理事長・院長／東 裕隆
- 名誉院長／本間 信吾
- http://www.dr-azuma.net/

